

校種	④・中	学校番号	25	学校名	宇都宮市立清原中央小学校
----	-----	------	----	-----	--------------

令和元年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 国・県・市の学力調査などから

- ・国語では、4、5、6年生のほとんどの領域・観点で全国や県、市の正答率を上回った。説明文や文学作品の内容を読み取る問題では全国や県の正答率を5ポイント程度上回った。漢字の読み書きや、慣用句の使い方についての問題では、市の正答率を下回る学年があった。6年生の学習内容定着度調査では、与えられた条件に合わせて作文する問題において、市の正答率を7ポイント以上上回った。
- ・社会では、市の正答率を下回る領域・観点多かった。特に、6年生の日本の歴史の領域における縄文時代から江戸時代についての問題の正答率が下回った。
- ・算数では、4、5、6年生の4領域の全てにおいて全国や県・市と同等か上回る正答率だった。数量や図形に関する知識、数量関係に関する問題の正答率が高かった。式や求め方について説明する問題では、不十分な解答や無解答がみられた。6年生の学習内容定着度調査では、面積と体積、単位当たり量の大きさ・速さについての問題で、市の正答率を下回った。
- ・理科では、5年生はすべての領域・観点で市の正答率を上回った。4年生では観察・実験の技能についての問題で、6年生では自然事象についての知識・理解についての問題で正答率が低かった。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・多くの児童が学習は大切だと考え、宿題や翌日の準備をきちんとやるという意識を持っている。
- ・学習内容がわかると答える児童はどの学年も95%を超えているが、自分から進んで勉強している、勉強しておもしろいと思うことがある、と答える児童は、市をほぼ下回っている。
- ・家庭での読書については、家庭でほとんど読まない児童が平日は10～30%、休日は30～40%程度いて、家庭での読書が習慣化されていないことが分かる。
- ・話合いに自分から進んで取り組んだり根拠をあげて話したりする児童の割合は、学年による差が大きいものの、市の平均を下回っている学年が多い。それでも、追跡調査をしてみると、ほとんどの学年で、進級後数値が上がっている。

(3) 授業等への取組状況から

児童一人一人が提示された学習課題の解決に向けて熱心に取り組み、児童同士が協同して学び合う姿勢が育ってきているが、次のような点で課題が残っている。

- ・自分の考えや思いについて相手を意識して分かりやすく伝える力や、友達が伝えようとしていることを自分の考えと比較しながら聞き、話し合って練り上げていく力が十分とは言えない。
- ・学年に応じた課題設定をして説明文の読み方を学び、読み取り方をつかんできているので、さらに物語文についても読みの力を確かなものになりたい。

以上の点をふまえ、思考力・判断力の育成に努め、自分の考えを豊かに表現できるような支援を続けていく必要があると考える。

2 今年度の重点目標

自分の考えをもち、豊かに表現する児童の育成～「読むこと」の国語の授業を通して～

3 今年度の取組（「平成31年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、授業における取組のうち重点は文頭に○）

（1）基礎・基本の確実な定着

□情報の読み取り，調べ方，聞き方，書き方など，学習のきまりや取り組む姿勢，態度や技能のさらなる定着

・朝の学習タイムの計画的な実施と充実

□家庭学習の習慣化を図るための，発達の段階に応じた適切な量と内容の宿題の提示（清原学校園との連携）と，「カテ学振り返り週間」の実施，及び保護者からのコメント

・自主学習の奨励のための自主学習ノートの見せ合い

（2）学習指導の工夫・改善

□一人一授業の公開，授業の見せ合い，板書の見せ合いと写真記録による指導力の向上

□全教職員による学力調査問題の実施，各種学力調査結果の正答率の分布の状況や経年比較についての分析，公表

○本時のめあてを明確にし，まとめまで見通した授業の展開

○少人数指導などを取り入れた個に応じたきめ細かな指導と，意欲を培う言葉かけ

□質の高い意見交換・情報交換になるよう資料・情報の活用力，処理能力を育てる学習活動の工夫

・課題解決を支える教材（視聴覚教材，実験・観察機材，インターネットを含む）や教具の選択と有効活用

○ペアやグループ，全体での話し合いを充実させることによる児童が学び合う授業の展開

（3）コミュニケーション力の育成

○意見の発表，順序や理由の説明，グループでの意見のとりまとめなどの場面を設定した話し合い活動の重視

・伝え合う活動に有効なスキルの指導

□英語によるスピーチやインタビューによる，英語でのコミュニケーション活動

（4）読書活動の充実

・朝の全校読書タイムの実施（週2回）

○学校図書館司書の授業への積極的な参画

・読み聞かせボランティアや教師による読み聞かせ（月1回）

・読書意欲を喚起するための委員会活動の工夫

（5）家庭・地域との連携・協力

・保護者会において，学校における学習のきまり，家庭学習の進め方の説明（4月）

・個人懇談において，規則正しい家庭での生活についての情報交換の場を設定（7月・12月）

・学校だよりや学年だより（年3回），学校ホームページ等による児童の学習の様子の周知

○図書館だよりの発行，学級懇談の活用による読書に関する保護者への啓発活動